

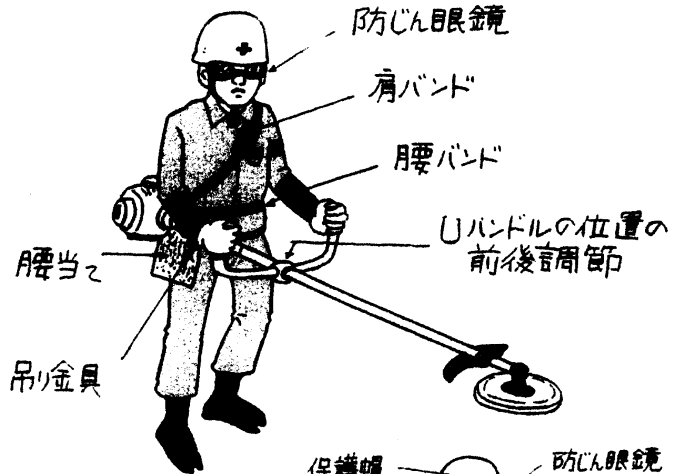
1. 服装

- ①刈払機を扱うにはまず服装が大事です。
- ②作業衣は、袖じまりの良い長袖、裾じまりの良い長ズボンを着用する。

肩掛式刈払機の装着

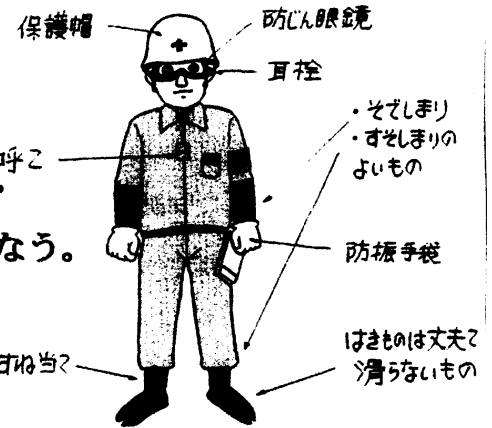
2. 保護具

- ①保護帽は、規格に合ったものを選びあご紐をしっかり締める。
- ②防塵眼鏡着用（ゴーグル、フード）する。
- ③呼子（笛）
- ④防振手袋
- ⑤耳栓（イヤークス、イヤーマフ）
- ⑥防蜂網の着用



3. 装備

- ①刈払機を正しく装着する
- ②肩バンド、腰バンド等の適切な装着
- ③刈払機の吊り金具への適切な装着
- ④Uハンドルの位置の前後調節



4. 作業上の一般的注意事項

※バランスのとれた姿勢

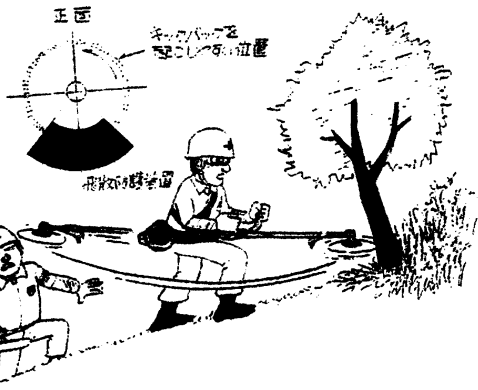
- ①刈払機を必要以上に大きく振り回したり、片手振りをしない。
- ②前進、ズリ足運び、膝と腰を使った基本動作を守る。
- ③横移動の足運び、移動方向の足からこきざみの足さばきで行なう。
- ④刈払機操作は、常に刈刃が体の正面になるように。

※上下作業、接近作業の禁止

- ①上下作業の禁止
- ②5m以内の立入禁止
- ③安全優先のためには、15m以上離れましょう。
- ④作業中は相互に合図をし、エンジンが止まったことを確認して作業者に近づきましょう。

※キックバックの防止

- ①キックバックの発生しない安全な方法
- ②腰より低い刈刃位置で使う。



5. 刈り払い方法

- ①刈幅は、約1.5m程度とする。
- ②右から左に2~3回に分けて刈払う。
- ③大振りや往復刈りはしない。
- ④刈る高さは、地上から5~10cmの位置
- ⑤急斜面地では、斜面の下方に向かって刈り進まない。
- ⑥障害物のある場所では、2回に分けて刈り進みましょう。

6. 刈刃への接触防止

- ①刈刃の根元や飛散防止カーバに草がからまった時、エンジンを停止して安全に処理をする。
- ②作業中以外は、エンジンを停止する。
- ③休息、休憩時は刈払機を安全な場所に置く。
- ④刈払機を肩にかついで運ぶ時は、歩行者間の距離を十分に保つこと。
- ⑤作業場を移動する時、刈刃を進行方向に向けて運ぶ。

2. 監視人

- ①作業をより安全に進めるために監視人を付け、その指示にしたがう。
- ②監視人は、刈払機を使う人と呼子で連絡を取り合う。
- ③監視人は、刈払機のエンジンが停止を確認して接近する。
- ④刈払機を使う人以外は、監視人より先え進まないこと。

